

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 6 6 号

【平成 26 年 7 月 4 日 (金) 発行】
発行：J A グループ宮城災害復興本部
編集：J A 宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

1. 営農再開支援へ、農林中金が土壤改良剤などの購入費を助成
2. 担い手営農復興支援へ「ビッグフェア 2014 in 宮城」
3. 神奈川県 of J A セレサ川崎が被災 3 県に義援金
4. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 34 次請求

1. 営農再開支援へ、農林中金が土壤改良剤などの購入費を助成

農林中央金庫は 6 月 23 日、東日本大震災で被災後、営農を再開する J A 仙台管内の 15 の農業生産法人と集落営農組合に、水稻、大豆、麦の作付けで使う土壤改良剤と育苗箱の購入資金の一部を助成しました。助成金額は、土壤改良剤は、表土除去が行われた農地 10 ไร่当たり上限 1 万円、育苗箱は被災水田 10 ไร่当たり上限 2,000 円を助成します。

同 J A の六郷農業倉庫と七ヶ浜農業倉庫の 2 カ所で贈呈式が開かれました。支援を受けた七ヶ浜生産組合の佐藤太郎組合長は「支援をいただき、ありがたい。有効に活用し成果を出すことが皆様への恩返しと考え、応えられるよう頑張っていきたい」と語りました。

支援は農林中金の「復興支援プログラム」の一環で、昨年度までに 113 億円を支援しています。

2. 担い手営農復興支援へ「ビッグフェア 2014 in 宮城」

J A グループ宮城は 6 月 27・28 日、「担い手営農復興支援ビッグフェア in 宮城」を、利府町のグランディ・21 特設会場で開きました。農機メーカー約 30 社が田植え機やトラクター、コンバインなど最新型の農機を展示。40 余りのブースでは、農機レンタル、営農資材情報など、復旧・復興に役立つ情報やコスト低減策を提案しました。

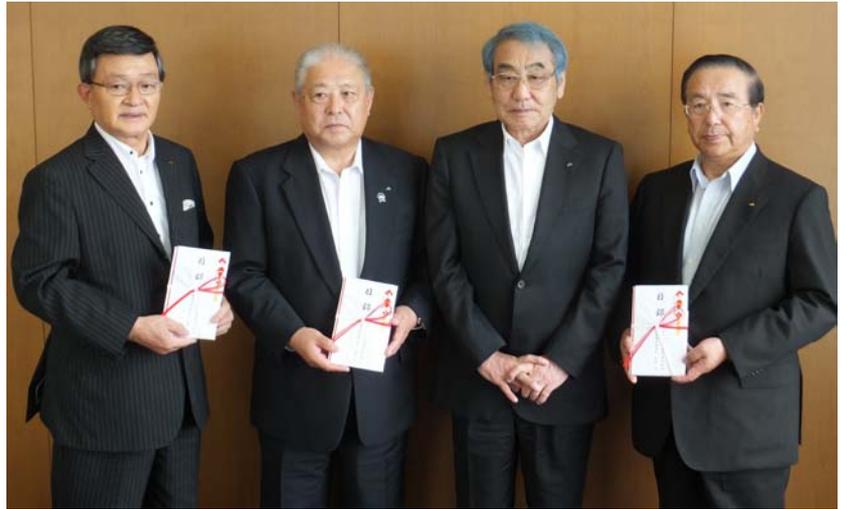


鉄コーティング水稻直播関連コーナーでは、実際に手作業で鉄コーティング種子の製造を体験でき、関連情報が一覧できるようにしました。

ステージイベントでは、農産物や農業関連資材などのチャリティーオークションも実施。売上金は義援金として東日本大震災の被災地に贈ることにしています。

3. 神奈川県ＪＡセレサ川崎が被災３県に義援金

神奈川県ＪＡセレサ川崎は６月５日、東日本大震災からの復興を進める宮城、福島、岩手の３県を支援するため、東京・大手町のＪＡビルで３県の中央会会長に義援金を送りました。贈呈は一昨年、昨年に続き３回目。義援金はＪＡ主催の農業まつりなどで寄付金として集めたもので農業まつりでは復興支援として福島産のリンゴやジュースを無料配布しました。



贈呈式にはＪＡセレサ川崎の柴原裕 左から菅原会長、田沼会長、柴原組合長、庄條会長組合長と、ＪＡ宮城中央会の菅原章夫会長、ＪＡ福島中央会の庄條徳一会長、ＪＡ岩手県中央会の田沼征彦会長が出席。柴原組合長は、「これからも川崎市民の気持ちとして義援金を届けていきたい」と語り、各会長に１００万円ずつ、合計３００万円の目録を贈りました。

4. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 34 次請求

ＪＡグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は６月１８日に総会を開き、東電への第 34 次請求を２億 4,500 万円とすることを決め、６月 30 日に請求しました。内訳は、牧草地の除染に係る損害が 7,700 万円、廃用牛の価格下落等の損害が 7,200 万円、風評被害に伴う肉牛の損害が 4,600 万円など。

６月 16 日現在、同協議会の請求総額は 315 億 1,400 万円、受領総額は 234 億 1,500 万円で、請求対比 74.3%となっています。

以 上